「ホームドラマチャンネル」番組審議会　議事録

インターローカルメディア株式会社
松竹ブロードキャスティング株式会社

開催日時：　2026 年 10 月 22 日（木曜日）11：30～12：45
開催場所：　コートヤード・マリオット銀座東武ホテル　会議室
出席者：　番組審議委員（敬称略）：
中村歌六／伊藤信太郎／太田博／堀江ミエ子／植草信和
小野寺重之／田中絵美子／村居俊彦
※委員総数 10 名中 8 名出席、2 名欠席（松本行央／相坂吉郎）
放送事業者（インターローカルメディア株式会社）:久保政史／佐藤肇
番組供給事業者（松竹ブロードキャスティング株式会社）：
井田寛／大谷二郎／鈴木牧子／深田誠剛／妹尾祥太／小野仁史
山野井崇之／今井亮一

議題：
1. 報告事項
・マーケット近況報告
・視聴者からの番組内容、編成内容に関する問い合わせ等について

2. 審議事項
(1)放送番組「今成亮太のピコピコ プロ野球！オープン戦 表回／ウラ回」に関する審議

・往年の名選手による配球の心理戦やマニアックな裏話トークは、M3 層にとってついつい見入ってしまう魅力的な企画。

・単に野球ゲームの操作法や面白さを追及するのではなく、プロ野球 OB のトークを引き出すきっかけとしてゲームを活用する手法は、ターゲット層に適した手法ではないか。
ただ、今後の鍵はキャスティングであり、トークで視聴者を引き込めるような魅力的なプロ野球 OB やゲストを継続して呼べるかが重要となるため、キャスティングに注力して番組を継続してほしい。

(2) 「ホームドラマチャンネル」の編成及びその他意見

・伊東四郎氏の引退発表に関連し、以前放映されていた『みごろ！たべごろ！笑いごろ！！』などは、現在の 50 代～60 代が子供時代に夢中になって見ていた番組であり、何度見ても笑える価値の高いコンテンツである。このような過去アーカイブ作品は、今後もチャンネル内で繰り返し再放送していく価値が十分にあるのではないか。

・池波正太郎原作（『鬼平犯科帳』や『剣客商売』）、脚本家・金子成人氏の手掛けた時代劇（1 話完結型）は非常に質が高く、繰り返し放送すべき貴重な作品である。

以上